

令和5年度 佃島小学校 外部評価報告書

評価委員：御代川和寿委員・志村昌孝委員・古里渉利委員・田野美栄子委員・南雲 慶一委員・小島 泰明委員
報告書作成者：古里渉利委員

評価時期 令和6年3月

1 重点目標の評価

重点目標1「豊かな社会性、人間性の育成」について

・学校経営方針の中に「学校全体があいさつと笑顔であふれる学校にする」と掲げている。今年度も、昨年度から引き続きあいさつ運動を行った。「あかるく いつも さきに つづけて」あいさつを行うことを目指して、学期に1回ずつあいさつ週間を設定し取り組んだ。また、代表委員会が毎朝玄関に立ち、あいさつを行うあいさつ運動も行った。その結果、進んで挨拶をする児童も徐々に増えてきている。

外部評価委員からは、あいさつについては課題があり、家庭と地域と学校とで一緒に声を掛け指導していく必要があるという意見が出た。一方で、気軽に声を掛けづらい現状があるという意見も出た。エレベーターなどでは、知らない人に声を掛けられても対応しないよう家庭で話をされている児童もいるのではないかと。今後も、あいさつをする大切さを学び、あいさつをしようとする意識を育てる場の設定を行っていくこと、学校や地域の大人が挨拶をしっかりと示し、学校と家庭と地域とが一致した課題意識をもって取り組んでいくことが大切であると確認した。

重点目標2「基礎基本の確実な定着」について

- ・来年度の方針として、3年生以上の完全教科担任制を実施していく。教員の授業力向上と共に、児童の学力向上に努めていく。
- ・個別最適・協同的な学びを中心に校内研究を進めてきた。主にタブレットの活用を中心にしながらどのように楽しい授業作りができるか検討を重ねてきた。教員の楽しい授業作りが楽しい学校作りにつながってくる。
- ・タブレットを活用した授業の充実はもちろん重要であるが、タブレットを活用しながらも、人と人の触れ合いを大切にしたい協働的な学習の充実を図っていくことが大切であることも確認ができた。

重点目標3「生涯を健康に過ごす素地の育成」について

・体力の向上に関する学校評価では、保護者、児童、教員共に、他に比べて課題意識を持っていることが分かった。PTA活動の今年度の取組として、合同スポーツ説明会の開催を行った。少しは児童の体力向上の一助となれるのではないかと。また、来年度から、PTAが中心となり、羽根つき大会に参加していく。学校としても、完全教科担任制の実施による体育の授業力向上、サマータイム導入による朝遊びの実施、昼休みの校庭遊びの実施、暑い夏を避けた秋の運動会の実施など、新たに来年度から体力向上の為に実施していくことが多くある。外部評価委員からも、新しい取り組みに期待したいとの声が上がった。

2 今後の改善に向けた意見

- ・令和6年度から、ジェンダー平等の観点や、児童がより快適に学校生活を送れるように、標準服の選択の幅を広げ、スラックスの準備を整えている。外部評価委員の方々からも賛同が得られた。